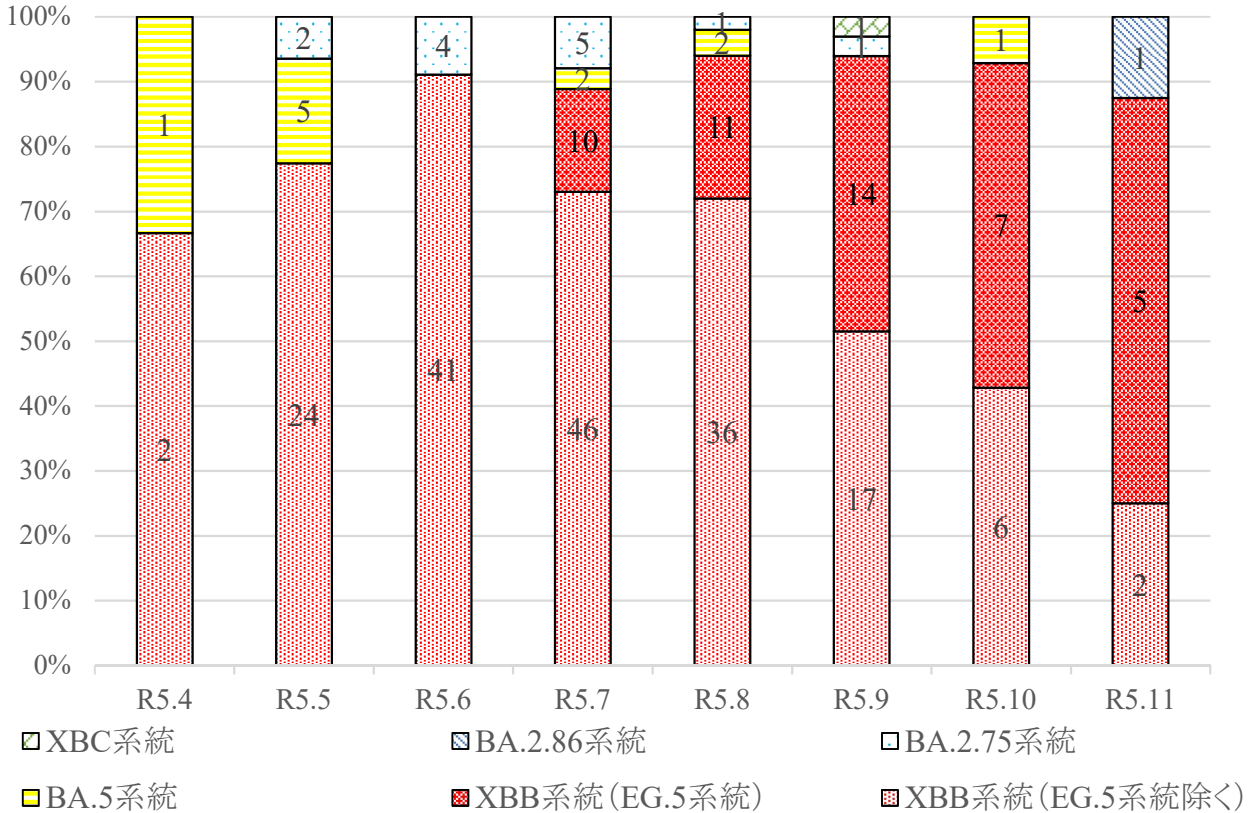


新型コロナウイルス感染症（COVID-19）ゲノム解析結果（大分県）

R5.12.27 時点

県内 14 か所の医療機関に協力を依頼し、県衛生環境研究センター及び大分大学で全ゲノム解析を実施しましたので、結果をお知らせします。

検体採取月別検出数



※今後、追加の報告により更新する可能性あり

- 9月以降は患者数の減少傾向に伴い、検体採取数も減少しています。上図から、県内でも全国と同様に XBB 系統への置き換わりが進んでいることがわかります。
- また、WHO が 8 月 9 日に「注目すべき変異株(VOI)」に指定した XBB 系統の亜系統である「EG.5 系統」については、当県では 7 月検体採取分で初めて検出されて以降、高い割合で検出されています。
- 9 月採取分で XBC 系統が検出されました。この変異株はオミクロン株 (BA.2) とデルタ株 (B.1.617.2) の遺伝子組換え体です。昨年 (2022 年) から全国的には検出されていましたが、県内では初検出となります。併せて、11 月採取分で VOI に指定されている BA.2.86 系統 (通称:「ピロラ」) が県内初検出されています。